

受付番号

55

許可番号

大歯医倫 第 111082 号

研究課題名

デンタルフロスによる歯間清掃が隣接面歯頸部の細菌叢に与える影響

研究責任者

柿本 和俊

申請者

柿本 和俊

研究終了日

2021 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部
口腔工学科

所属

医療保健学部
口腔工学科

職名

教授

職名

教授

申請の概要

デンタルフロスは歯ブラシでのブラッシングでは除去できない歯間部の清掃に効果的であるとされて使用が推奨されてきた。一方で、アメリカの AP 通信による調査は、デンタルフロスの効果についてエビデンスを示す論文はほとんどないと指摘している。

そこで今回の研究では、市販されている 6 本糸の F 字型デンタルフロスを用いて、デンタルフロスによる口腔清掃が口腔常在細菌叢にどのような影響を及ぼすかを検討する。

インフォームドコンセントの得られた成人ボランティアに、実験開始前、2 週間デンタルフロスを使わず通常の歯口清掃を行った後、そのあと、6 本糸 F 字型デンタルフロスを併用した歯口清掃を 2 週間行った後、その後再びデンタルフロスを使わず 2 週間生活した後、さらに 2 週間デンタルフロスを併用する条件 2 回の合計 4 回の実験期間後の隣接面歯頸部常在細菌叢の変化を、デンタルフロスにより掻きとったプラークの構成細菌を 16S メタゲノム解析することで比較検討す

る。なお、解析部位は事前の口腔内診査と医療面接により決定する。

本研究によって、デンタルフロスによる歯間部の清掃が、口腔常在細菌叢の管理に重要であるという従来の認識に、具体的なエビデンスが付与できるものと期待できる。